

内容：国際的な感染症の発生・移動への警戒の強化

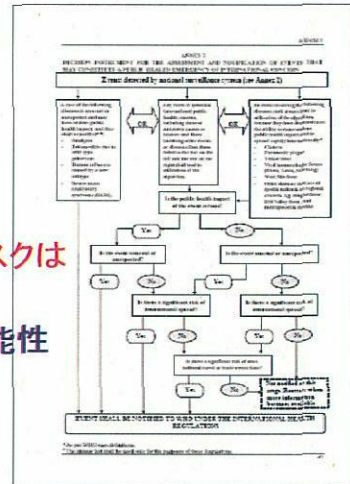
Public Health Emergency of International Concernの4つの指標

- 事例の公衆衛生上のインパクトは重大か？
- 事例は異常であり予期せぬものか？
- 国際的に伝播する著明なリスクはあるか？
- 国際的な旅行や貿易の制限に至る著明なリスクはあるか？

→麻しんの国際的な伝播は上記に該当する可能性

各国の以下を強化する機会でもある

- ・ 政治的責任
- ・ 技術的な活動



WHOスライドを一部改変

2012年の日本からの麻しん排除を目指して

【目標】

- ・ 輸入例を除き麻疹確定例が1年間に人口100万人当たり1例未満となること
- ・ 2回の麻しん含有ワクチン接種率がそれぞれ95%以上であること
- ・ 全数サーベイランスなどが優れたレベルで維持されること
- ・ 輸入例に続く集団発生が小規模で抑えられること

“だから自分もみんなも、はしかに
ならない、はしかにさせない”

“日本の子どもも若者もはしかにならない、
世界の人々もはしかにさせない”